

将監ふれあいコンサート プログラム



日 時：平成 26 年 11 月 9 日（日）
14：00～16：00

場 所：将監市民センター

主 催：「将監沼の自然」とふれあいを育む会
将監地区社会福祉協議会
将監市民センター



【将監ふれあいコンサート】演奏曲目

【第1部】ふるさとを想う ～合唱の魅力～

MYU 社の混声合唱団 指揮 相澤 富美江 ピアノ 市川 恵美

唱歌メドレー『ふるさとの四季』（源田 俊一郎編曲）より

「故郷」「村祭」「紅葉」

組曲『蔵王』（尾崎 左永子作詞 佐藤 眞作曲）より

「蔵王讃歌」「どっこ沼」「雪むすめ」「早春」

「千の風になって」（日本語詞・作曲 新井 満 編曲 大田 桜子）

【第2部】 ～オーケストラの響き～

宮城大学管弦楽団 指揮 渡部 勝彦

J.S.バッハ作曲 『管弦楽組曲第3番』BWV1068より

「G線上のアリア」

レスピーギ作曲 『リュートのための古風な舞曲とアリア』第3組曲より

「イタリアーノ」「シチリアーノ」

WA モーツァルト作曲

セレナード第13番ト長調『アイネ・クライネ・ナハトムジーク』K.525より

第1楽章

~~~~ 休憩 (10分) ~~~~

【第3部】 躍動するよろこび ～合唱とオーケストラの饗宴～

MYU 社の混声合唱団 宮城大学管弦楽団 指揮 渡部 勝彦

「上を向いて歩こう」（永 六輔作詞 中村 八大作曲 牧戸 太郎編曲）

「見上げてごらん夜の星を」（永 六輔作詞 いずみ たく作曲 今村 康編曲）

『サウンド・オブ・ミュージック』（O. ハーマースタインⅡ世作詞/R.ロジャース作曲）より

「サウンド・オブ・ミュージック」（原 梨香訳詞） 「ドレミの歌」（ペギー 葉山訳詞）

「エーデルワイス」（阪田 寛夫訳詞） 「すべての山に登れ」（北野 實訳詞）

「大地讃頌」（大木 惇夫作詩 佐藤 眞作曲）

お話しと進行 渡部 勝彦





## プロフィール

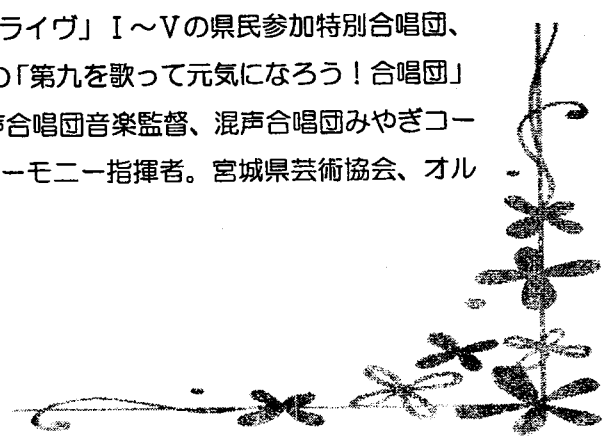
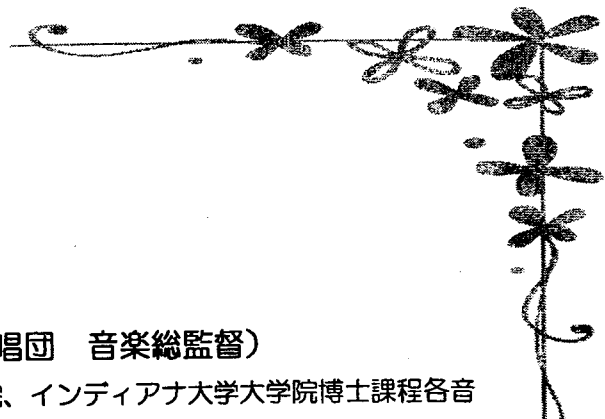
### 渡部 勝彦 (MYU 社の混声合唱団 音楽総監督)

1972 年渡米、以後パトラー大学、シンシナティー大学大学院、インディアナ大学大学院博士課程各音楽部に学費全額免除特待生として入学。1981 年、ニューヨーク市リンカーンセンター・アヴェリーフイッシャー・ホールにてフィルハーモニー・オーケストラを指揮、また、ニューヨーク市グッドマン・ホールにて現代音楽室内アンサンブルを指揮。1981 年 5 月にインディアナ大学博士課程を単位取得退学。同年 8 月、「全米第 8 回指揮コンクール」に優勝。1983 年、山形交響楽団常任指揮者に就任し、年間 100 回を超える演奏会を 11 年間にわたって指揮し、同交響楽団の発展に尽力。1985 年 9 月、宮城教育大学助教授に就任、渡部勝彦ゼミナール・宮城教育大学管弦楽団を創設。その他、毎週放送の東北放送ラジオ番組「渡部勝彦の音楽レストラン」のパーソナリティーを 1996 年以來 12 年間継続して務めたことに加え、宮城県文化振興財団、東北放送主催「音楽レストラン」のライブ版「渡部勝彦の音楽レストラン・オン・ライブ」パート I、II、III、IV、V を東京エレクトロンホール宮城で毎年開催し、いずれも超満員の中、大好評を博す。2011 年 3 月宮城教育大学定年退職。同年宮城県教育文化功労賞受賞。

現在、宮城大学特任教授、宮城教育大学名誉教授、東北大学非常勤講師、(公社)宮城県芸術協会執行理事、宮城県栗原市ドリーム・アンバサダー(夢大使)、エマイユ・フィルハーモニック及び混声合唱団みやぎコーラルハーモニー音楽総監督兼常任指揮者、宮城大学管弦楽団及び MYU 社の混声合唱団音楽総監督、一関市民オーケストラ音楽監督兼常任指揮者、二本松あだたら混声合唱団常任指揮者。

### 相澤富美江 (MYU 社の混声合唱団 音楽監督・指揮者)

東北大学文学部卒業。宮城教育大学大学院音楽教育専修修了。声楽を板橋健氏に師事。また、O.W.コロ、K.グラフ、K.ヴィトマー等の各氏に指導を受ける。1992 年、1994 年にジョイント・リサイタル、1999 年にソロ・リサイタルを開催。2009 年、2014 年、ピアニストの松山裕美子氏と共に、歌曲リサイタルを開催。その他、モーツァルト作曲「レクイエム」、フォーレ作曲「レクイエム」、ヘンデル作曲「メサイア」等、宗教曲のソリストを含め、多数の演奏会に出演。2006 年～2011 年、宮城県文化振興財団・東北放送主催「渡部勝彦の音楽レストラン・オン・ライブ」I～V の県民参加特別合唱団、2011 年、2012 年、2013 年、宮城大学復興支援コンサートの「第九を歌って元気になろう！合唱団」の合唱指導を担当。現在、宮城大学非常勤講師、MYU 社の混声合唱団音楽監督、混声合唱団みやぎコーラルハーモニー音楽助監督兼指導者、女声合唱団フレンド・ハーモニー指揮者。宮城県芸術協会、オルガンとカンタータの会、各会員。





## 市川恵美 (MYU杜の混声合唱団 ピアニスト)

常盤木学園高等学校音楽科、宮城学院女子大学音楽科卒業。宮城教育大学大学院音楽教育専修修了。

第6回東北青少年ピアノコンクール銀賞受賞。第22回日本ピアノコンクール入賞。第114回日演連推薦新人演奏会にて、外山雄三指揮、仙台フィルハーモニー管弦楽団と、第37回宮城教育大学管弦楽団定期演奏会にて、渡部勝彦指揮、宮城教育大学管弦楽団と共演。ベルギーアンギアン国際マスタークラスに参加、ジャン・ファシナ氏に指導を受ける。同マスタークラス修了コンサート出演。

これまでにピアノを、千葉いくこ、浅野繁、佐藤俊、倉戸テルの各氏に、音楽表現を渡部勝彦氏に師事。現在、後進の指導に当たると共に、演奏活動を行っている。

アポロ音楽院、泉音楽院各講師、聖和学園高等学校非常勤講師。MYU杜の混声合唱団ピアニスト。宮城県芸術協会正会員。

## 宮城大学管弦楽団

2004年2月結成

渡部勝彦音楽総監督のもと、これまで6回の定期演奏会を開催。大学の式典でも演奏し、活発な活動を続けている。団員は、宮城大学在学学生や卒業生に加え、他大学生や一般市民も参加している多彩な構成である。2011年から3年続けて12月に、宮城大学主催【宮城大学復興支援コンサート『第九を歌って元気になろう』】のオーケストラ部門を担当し、好評を博す。本年も8月にはMYU杜の混声合唱団との第2回合同演奏会を開催。そして12月にいよいよ地域の風物詩となりつつある『第九』演奏会と続く。

## MYU杜の混声合唱団

2012年4月結成

MYU杜の混声合唱団は2011年末、宮城大学主催「第九で宮城を元気にしよう」復興支援コンサートが開催されたのを契機に、第九を指揮した特任教授の渡部勝彦先生の呼びかけで、2012年4月に結成された。宮城大学(MYU)が目指す「地域と共に歩む開かれた大学創り」に寄与すること及び「歌うこと」を通して人的交流を深めながら地域の音楽文化の向上にも寄与することを目的として活動している。一昨年7月に桂市民センターでコンサートデビュー。昨年は2月に「第1回記念演奏会」を宮城大学管弦楽団の演奏で開催し、6月には仙台白百合学園120周年記念コンサートに、そして9月には県民ロビーコンサートで宮城大学管弦楽団と共に出演。また昨年末の大学大階段での第九の第3回コンサートには共催として参加した。本年8月には「第2回合同演奏会」と冠して宮城大学管弦楽団とともに開催。結成3年目を迎えて、混声合唱の真髄を味わえる組曲『蔵王』にも取り組み、積極的に新しい楽曲に挑戦している。

